

平成3年度冬作(麦類・いぐさ・水稻刈跡)

関係除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成3年度冬作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成4年9月3日、家の光ビルにおいて開催した。

本年度供試された冬作関係除草剤は、作用性試験3剤、適用性試験29剤、生育調節剤は、作

用性2剤、適用性試験2剤であった。

このうち、適用性試験については、慎重に試験成績を検討し、実用化についての判定を行った。

その結果は、次表のとおりである。

平成3年度 冬作関係除草剤・生育調節剤中央判定および使用基準

A. 除 草 剤

I. 小 麦

薬 剤 名	判 定	使 用 基 準							継 の 内 容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意	
1. AKR-7012 水和 ・ジクロベニール……30% ・ジフルフェニカン……4%	「実・継」	一年生雑草全般	土 壌	播 種 後	20~25 g	全 土 壌 (砂土を除く)	全 域 (畑作、 水田裏作)		・小麦2~3葉期処理に対する地域拡大。 ・効果の確認。
				小麦2~3葉期			寒冷地以西(畑作、 水田裏作)		
2. DPX-16 顆粒水和 ・チフェンスルフロンメチル……75%	「実・継」	一年生広葉雑草およびスズメノテッポウ	茎 葉	小麦3~4葉期	0.5~1.0 g	全 土 壌 (砂土を除く)	寒 冷 地 (畑作、 水田裏作)	1) 体系処理: 土壌処理剤との体系処理で使用する。 2) 単用処理の場合は0.75~1.0 gでの使用が望ましい。	・処理時期の拡大。 ・少量散布について。 ・地域拡大。
				小麦4葉~節間伸長前、スズメノテッポウ4~5葉期			温 暖 地 暖 地 (畑作、 水田裏作)		
3. Hoe-032 顆粒水和 ・アミドスルフロン……20%	「継」								・効果、薬害の再検討。

薬 剤 名	判 定	使 用 基 準							継 の 内 容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意	
4. Hoe-113-S フロアブル ・フェノキサブ ロップ-P- エチル ……75 g/l	「継」								・効果、薬害の 再検討。
5. Hoe-86610 液 ・グルホシネー ト……8.5%	「実・継」	一年生雑 草全般	茎 葉	耕起前7 ～14日	50～75ml	全 土 壤	温暖地東 部(畑作, 水田裏作)	1) 周辺作物に飛散 しない様に注意 する。	・地域拡大。
6. KUH-901 乳 ・ベンチオカー ブ……50% ・ペンディメタ リン……5% ・リニュロン ……7.5%	「継」								・初年目、有望。 ・効果、薬害の 再検討。
7. KUH-901 細粒 ・ベンチオカー ブ……8% ・ペンディメタ リン……0.8% ・リニュロン ……1.2%	「継」								・初年目。 ・効果、薬害の 再検討。
8. Mon-8794 液 ・グリホサート ……20%	「実」	一年生雑 草全般	茎 葉	耕起前7 ～14日	30～50ml (水量2.5 ～5 l)	全 土 壤	全 域 (畑作, 水田裏作)	1) 少量散布の場合 は専用ノズルを 使用する。	
		シバムギ			40～50ml (水量2.5 ～5 l)		寒 地 (畑作)	2) 周辺作物に飛散 しない様に注意 する。	
9. NC-323 水和 ・ピラゾスルフ ロンエチル ……2% ・ペンディメタ リン……50%	「実・継」	一年生雑 草全般	土 壤	播 種 後	15～18 g	全 土 壤 (砂土を 除く)	寒冷地以 西(畑作, 水田裏作)	1) 碎土、整地、覆 土をていねいに 行って均一に散 布する。	・薬害要因解明。
				小麦1～ 2葉期, イネ科雑 草1葉期			温 暖 地 暖 地 (畑作, 水田裏作)		
					12～15 g		寒 地 (畑作)		

薬 剤 名	判 定	使 用 基 準						継 の 内 容	
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯		使用上の注意
10. PL-10 乳 ・ペンディメタリン……15% ・リニュロン ……10%	「実・継」 (前回どおり)	一年生雑草全般	土 壌	播 種 後	50～80ml	全 土 壌 (砂土を除く)	温 暖 地 暖 地 (水田裏作)	1) 砕土、整地、覆土をていねいに行って均一に散布する。 2) ヤエムグラに効果の劣る場合がある。	・草種と薬量の検討。 ・地域拡大。
11. PL-10細粒 ・ペンディメタリン…1.5% ・リニュロン ……1.0%	「実・継」	一年生雑草全般	土 壌	播 種 後	500～600g	全 土 壌 (砂土を除く)	温 暖 地 暖 地 (畑作、水田裏作)	1) 砕土、整地、覆土をていねいに行って均一に散布する。 2) ヤエムグラに効果の劣る場合がある。	・薬量および土壌と効果、薬害との関係について。 ・地域拡大。 ・効果の再確認。
12. プロジアミンフロアブル ・プロジアミン ……41%	「実・継」	一年生雑草全般	土 壌	播 種 後	10～15ml	全 土 壌 (砂土を除く)	寒 地 (畑作)	1) キク科には効果が劣る。	・地域拡大。
13. RPJ-445フロアブル ・ジフルフェニカン ……500g/l	「継」								・初年目。 ・効果、薬害の再検討。
14. RSH-44 乳 ・ジフルフェニカン ……40g/l ・トリフルラリン…400g/l	「実・継」	一年生雑草全般	土 壌	播 種 後	15～25ml	全 土 壌 (砂土を除く)	寒 地 (畑作)	1) 砕土、整地、覆土をていねいに行って均一に散布する。	・処理時期拡大。 ・地域拡大。
					20～25ml		寒冷地以西(畑作、水田裏作)		
				小麦2～3葉期			寒 冷 地 (畑作)		
15. RSH-44 粒 ・ジフルフェニカン…0.2% ・トリフルラリン……2%	「実・継」	一年生雑草全般	土 壌	播 種 後	400～500g	壤土～埴土	寒 冷 地 温 暖 地	1) 砕土、整地、覆土をていねいに行って均一に散布する。	・適用土壌の拡大。 ・地域拡大。
						埴壤土～埴土	暖 地		
16. SC-224 液 ・グリホサートトリメシウム塩……38%	「実」	一年生雑草全般およびシバムギ	茎 葉	耕起7～14日前	20ml	全 土 壌	寒 地 (畑作)		

薬 剤 名	判 定	使 用 基 準							継 の 内 容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意	
17. トリフルラ リン 2.5 粒 ・トリフルラリ ン……2.5%	「実」 「継」	一年生雑 草全般	土 壌	播 種 後	400 ～ 500 g	全 土 壌 (砂土を 除く)	寒冷地北 部(畑作) 寒冷地南 部以西 (水田裏 作)	1) 砕土, 整地, 覆 土をていねい に行つて均一に 散布する。 2) 排水不良田では 効果が劣る場合 がある。	
		一年生イ ネ科雑草					寒 地 (畑作)		

II. 大 麦 類

薬 剤 名	判 定	使 用 基 準							継 の 内 容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意	
1. AKR-7012 水和 ・ジクロベニ ール……30% ・ジフルフェ ニカン……4%	「実」 「継」	一年生雑 草全般	土 壌	播 種 後	20～25 g	壤土～埴 土	寒冷地以 西(畑作, 水田裏作)	1) 対象: 二条大麦, 六条大麦, 裸麦。	・効果の再確認。 ・適用土壌の拡 大。 ・処理時期の拡 大。 ・地域拡大。
				麦 2～3 葉期			寒 冷 地 温 暖 地 (畑作, 水田裏作)		
2. DPX-16 顆粒水和 ・チフェスル フロンメチル ……75%	「実」 「継」	一年生広 葉雑草お よびスズ メノテッ ポウ	茎 葉	大麦 4 葉 ～節間伸 長前, ス ズメノテ ッポウ 4 ～5 葉期 まで(但し, 寒冷地は 大麦 3 葉 ～節間伸 長前)	0.5 ～ 1.0 g	全 土 壌 (砂土を 除く)	寒冷地以 西(畑作, 水田裏作)	1) 対象: 二条大麦, 六条大麦, 裸麦。 2) 体系処理: 土壌 処理剤との体系 処理で使用する。 3) 単用処理の場合 は 0.75～1.0 g での使用が望ま しい。	・処理時期の拡 大。 ・少量散布につ いて。
3. Hoe-032 顆粒水和 ・アミドスル フロン……20%	「継」								・効果, 薬害の 再検討。
4. Mon-8794 液 ・グリホサート ……20%	「実」 「継」	一年生雑 草全般	茎 葉	耕起前 7 ～14 日	30～50ml (水量 2.5 l)	全 土 壌	温暖地東 部, 暖地 (畑作, 水田裏作)	1) 少量散布の場合 は専用ノズルを 使用する。 2) 周辺作物に飛散 しない様に注意 する。	・効果の再確認。 ・地域拡大。

薬 剤 名	判 定	使 用 基 準						継 の 内 容	
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯		使用上の注意
5. PL-10細粒 ・ペンディメタリン…1.5% ・リニュロン ……1.0%	「継」								・初年目。 ・効果、薬害について再検討。
6. RSH-44乳 ・ジフルフェニカン ……40 g/l ・トリフルラリン…400 g/l	「実・継」	一年生雑草全般	土 壌	播 種 後	20～25ml	全 土 壌 (砂土を除く)	寒 冷 地 温 暖 地 (畑作, 水田裏作)	1) 対象: 二条大麦, 六条大麦, 裸麦。 2) 砕土, 整地, 覆土はていねいに行 って均一に散布する。	・暖地での適用 土壌の拡大。
						壤土～埴土	暖 地 (水田裏作)		
7. RSH-44粒 ・ジフルフェニカン…0.2% ・トリフルラリン……2%	「実・継」	一年生雑草全般	土 壌	播 種 後	400 ～ 500 g	全 土 壌 (砂土を除く)	温 暖 地 (畑作, 水田裏作)	1) 対象: 二条大麦, 六条大麦, 裸麦。 2) 砕土, 整地, 覆土を ていねいに行 って均一に散布する。	・適用土壌の拡大。 ・効果の再確認。 ・薬量の検討。
					400 ～ 600 g	壤土～埴土	寒 冷 地 暖 地 (水田裏作)		

IV. い め ざ

薬 剤 名	判 定	使 用 基 準						継 の 内 容	
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯		使用上の注意
1. DBN 1.0粒 ・ジクロベニール……1.0%	「実・継」	一年生雑草全般	湛水土壌	雑草発生始期	600 g	壤土～埴土	温暖地西部以西	1) 湛水状態で散布し散布後3～4日間そのままの状態とし、落水、かけ流しをしない。	・薬量の検討。
2. Hoe-171-S フロアブル ・フェノキサプロップ-P-エチル ……69 g/l	「継」								・初年目。 ・効果、薬害の検討。
3. MB-206粒 ・リニュロン ……1.5%	「実・継」(前年とおり)	一年生雑草全般	湛水土壌	植付け後雑草発生前	300～400 g	壤土～埴土	温暖地西部以西	1) 夏雑草対象除草剤との組合せで使用する。	・植付け落水直後処理での効果、薬害および薬量の検討。

B. 生育調節剤

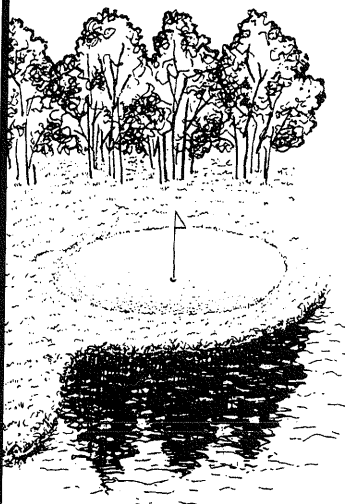
I. 小麦

薬剤名	判定	使用基準							継の内容
		試験目的	処理法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意	
1. KUH-833 F [®] フロアブル ・プロヘキサジ オンCa5%	「実・継」	倒伏軽減	茎葉	出穂前7日	15m/l	全土壌	寒冷地以西		・効果の再確認. ・地域拡大. ・処理時期と薬量について.

II. 大麦類

薬剤名	判定	使用基準							継の内容
		試験目的	処理法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意	
1. KUH-833 F [®] フロアブル ・プロヘキサジ オンCa5%	「継」								・効果の確認. ・ビール麦への拡大.

さらに、美しいコースのために。



■バシッとパッチをコントロールノ
ラージパッチ、ブラウンパッチ、葉枯病に卓効

バシパッチ[®] 水和剤

■カヤツリグサ科雑草をシャットアウトノ
ヒメクグ、ハマスゲに優れた効果

トーンナップ^{*} 液剤

■広い殺草スペクトラム、高い安全性ノ
長い残効性が期待できる、土壌処理除草剤

ウェイアップ^{*}フロアブル



株式会社 理研グリーン

本社 東京都台東区上野2-12-20 NDKロータビル
TEL 03(3833)6321

支店 仙台・東京・静岡・名古屋・大阪